



## 宮古・石垣でも開催

### 地震被災建築物の「応急危険度判定講習会」

沖縄県が主催して地震被災建築物の「応急危険度判定」を行う技術者の養成・登録を行うことを目的とした講習会を12月26日(月)13:30~16:00に宮古土木事務所で、12月27日(火)9:30~12:00に八重山土木事務所で開催します。宮古・八重山地区において、まだ受講されていない方をはじめ、既に判定士に登録されている方も再度受講され、応急危険度判定活動の知識を深めていただきますようお願いいたします。受講料は無料。但しテキスト(応急危険度判定マニュアル)を購入される方は2,000円の負担となります。建築士会CPD認定 3単位。また、名護市及び那覇以南地域にて「判定士」を対象とした「模擬訓練」を実施予定。詳細決定しだい告知いたします。



## 応急危険度判定コーディネーター

### 22日に養成講習会

地震被災建築物応急危険度判定コーディネーター(以下、判定コーディネーター)とは、市町村災害対策本部が応急危険度判定を実施する場合、判定実施本部の職員として、判定士を指揮・監督・支援する役割を担う者です。「応急危険度判定士」が実際の被災時で円滑かつ迅速に判定作業を進めるためにも極めて重要な役割を担います。

沖縄県では、震災建築物応急危険度判定体制の整備を図るため、主に応急危険度判定実施に関わる行政職員を対象とした判定コーディネーター養成講習会を12月22日(木)に浦添市産業振興センター結の街で開催することを計画しており、一部、民間判定士にも参加の機会を提供する予定です。近日中に士会ホームページに掲載いたします。



## 住宅省エネルギー技術講習会

### 設計者編のこり 3回

国土交通省は、東京オリンピックが開催される2020年(平成32年)までに新築住宅について段階的に省エネルギー基準への適合を義務化することとし、全国で技術者向けの住宅省エネルギー講習会を開催しています。沖縄においても今年度、延べ9回の講習開催計画のもと、これまで、内6回の講習が盛会に終了しています。今年度は、12月15日、1月12日、17日の残り3回を残すのみとなりました。「28年省エネルギー基準対応テキスト使用！」過去に受講された方の再受講も歓迎します。申込は士会ホームページに掲載の受講申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申込ください。受講料1,000円。



## ティーダフラッグス2016 U40 佐川さん・山内さんの作品が金賞に

去る11月30日に沖縄県が若手建築士の育成及び建築技術の向上と発展を図ることを目的に、40歳以下の建築士を対象として企画した「ティーダフラッグス2016設計競技」のプレゼンテーションと最終審査(公開)が県立博物館美術館講堂で行われ、佐川淳さん+山内詩織さん((有)真玉橋設計事務所)の作品(No.4)が金賞に選ばれました。銀賞は山城勝久さん+金城治奈さん+藤戸雅浩さん+安里毅之さん((株)具志堅建築設計事務所)の作品(No.7)。銅賞は大坂渉さん(ティンアーキテクツ)の作品(No.31)と砂川佳久さん+仲村はるかさん+大城良介さん((有)アトリエ門口)の作品(No.11)が選ばれました。審査結果及び入選作品は沖縄県土木建築部施設建築課のホームページに近日掲載される予定です。



## 専攻建築士登録申請Web受付

### 29年1月4日~開始

(公社)日本建築士会連合会では、平成28年度専攻建築士更新申請にあたり、新システムの専攻建築士管理システムサーバーを試行しており、平成29年1月4日より受付を開始いたします。皆様がお持ちのCPD番号とパスワードを使用し、システムにアクセスし更新申請することで、今までの煩雑な書類作成をすること無く、画面上での登録内容確認、及び追記作業で更新申請することが可能です。また、専攻建築士の有効期間が切れてしまっている方も、更新申請は可能でございます。是非、この機会に専攻建築士の更新申請をお願い申し上げます。



## 二級・木造建築士試験合格発表

(公財)建築技術教育普及センターは、12月1日(木)に平成28年二級・木造建築士「設計製図試験」の合格者を発表しました。沖縄県では、324名が受験し、48名が合格。合格率は14.8%。全国では23,333名が受験、5,920名が合格、合格率は25.4%。沖縄における木造の試験は学科に2人が受験し、合格者なし。



## 士会主催「監理技術者講習」

### 毎月1回 開催中!



## 士会事務局の仕事納めは28日、仕始は4日

